

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	消防車両の後輪・ダブルタイヤの間に車輪止めが挟まった事例
3. 体験した事例の中心的要素	消防車両を移動させた隊員Aが運転席側前輪タイヤの前後に車輪止めを設定したが、その場所から車両を移動させようとした別の隊員Bが前側の車輪止めのみを外して前進した為、残した車輪止めが後輪のダブルタイヤの間に挟まっていたもの。別の隊員が気付いて取り除いたが、そのまま出動等により走行した場合、外れて跳ね飛んだ車輪止めにより、歩行者または他の車両、建物等に損害を与えることが考えられた。
4. 体験した事例の原因・理由	車両停車時の車輪止め設定方法が隊で統一されていなかったため隊員間の認識にズレがあったこと、また庁舎前での行動であったため、ある程度安全が確保されているという思い込みから車両を移動する際の周囲の状況確認を怠ったことによる。

【体験した事例の直接的な原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	状況判断に問題があった。 行動の実行に問題があった。
------------------	-------------------------------

【体験した事例について】

1. 発生日時	平成26年9月30日 午後3時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外：庁舎前空地
4. 体験した事例の種類	回答者が、他人を負傷させそうになった。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	死亡していた（させていた）だろう 重傷の怪我をしていた（させていた）だろう
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	飛来・落下ぶつにぶつかる、交通事故
7. 事例体験時の活動	その他:
8. （7の活動中）どのような作業中に発生したか	その他：車両の毎日点検中
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[27]歳、勤続年数[4]年、現場経験年数[4] 年、階級[消防士] 同様の活動 [頻繁]、任務 [隊員]
○当事者B	年齢[30]歳、勤続年数[10]年、現場経験年数[10] 年、階級[消防士] 同様の活動 [頻繁]、任務 [機関員]
○当事者C	年齢[29]歳、勤続年数[8]年、現場経験年数[8] 年、階級[消防士] 同様の活動 [頻繁]、任務 [隊員]
○その他(当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生時の経過。

	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者Bが	車庫内から分署前へ車両を移動させ、運転席側前輪タイヤの前後に車輪止めを設定した。	
経過2	当事者Aが	車両を移動するため、前輪タイヤの前側の車輪止めのみを解除した。	
経過3	車輪止めが	後ろ側に設定した車輪止めがそのまま放置された。	
経過4	当事者Aが	車両をほぼ直線的に前進させたため、放置された車輪止めが運転席側後輪のダブルタイヤの間に挟まった。	
経過5	当事者Cが	タイヤの間に車輪止めが挟まっていることに気付き、取り外したものの。	
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】

○事故の場合 :事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合 :ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

他隊(員)から適切な注意を受けた。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	はい
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	はい
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

